

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	実用英語				
担当者氏名	ビル ロッケンバッハ、高木 浩志				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 英語-1 国際社会に貢献できる人材育成 ◎ 英語-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

本講座では、英語の各種資格取得を目標として、英語の実用的な運用力をつけることを目指す。1. 学期の始めに、英検準2級以上に相当する目標の級あるいは得点を決定する。2. 目標の級あるいは得点の取得を目指して、受講する。また、課外でも十分に自己学習を行う。3. 学外で実施される検定試験を当該学期内に受験する。（応募手続きなどは学生が各自行う）注: 授業参加と試験目標達成両方が授業単位取得の必須条件に含まれる。

《授業の到達目標》

資格試験（STEP（英検）、TOEIC、TOEFL、などのどれか）の合格に向けて、英語の知識と技能を身につける。

《テキスト》

なし。（受講者が目標の試験のための問題集などを各自で用意する。）

《参考図書》

適宜指示する。

《授業時間外学習》

授業内容を事前に目を通し、わからない単語などを辞書などで調べておく。授業が終わってから、その内容を復習し、わからないところがあれば、それをメモにし、次の授業でそれについて聞くことが望ましい。

《成績評価の方法》

授業出席と授業参加(10%)、課題提出(10%)、資格取得(80%)。学期の始めに決定した検定試験の目標級・目標得点を取得した学生のみが、単位を取得する。全ての提出物の提出、積極的・協力的な授業参加が単位取得の必須条件に含まれる。

《備考（教員経験の有無）》

Team teaching形式で週毎の学習内容変更があり得る。「授業計画」は、石井辰哉「TOEIC TEST文法別問題集」講談社（ISBN4062108305）に出ているテーマを使った授業の展開例である。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	文法の復習と聞き取りトレーニング	Sentence Patterns & Voice (文型と能動態/受動態)
2	文法の復習と聞き取りトレーニング	Tenses (時制)
3	文法の復習と聞き取りトレーニング	Wrap-up of Wks. 1 & 2
4	文法の復習と聞き取りトレーニング	Modals (助動詞)
5	文法の復習と聞き取りトレーニング	Infinitives, Gerunds & Participles (不定詞・動名詞・分詞)
6	文法の復習と聞き取りトレーニング	Wrap-up of Wks. 4 & 5
7	文法の復習と聞き取りトレーニング	Relatives (関係詞)
8	文法の復習と聞き取りトレーニング	Conditionals (仮定法)
9	文法の復習と聞き取りトレーニング	Wrap-up of Wks. 7 & 8
10	文法の復習と聞き取りトレーニング	Interrogatives (疑問詞)
11	文法の復習と聞き取りトレーニング	Nouns & Pronouns (名詞・代名詞)
12	文法の復習と聞き取りトレーニング	Wrap-up of Wks. 10 & 11
13	文法の復習と聞き取りトレーニング	Adjectives, Adverbs & Comparison (形容詞・副詞・比較) Conjunctions & Prepositions (接続詞・前置詞)
14	文法の復習と聞き取りトレーニング	Wrap-up of Wks. 1~14
15	総括	まとめ、総括